

高齢者COPD治療スタートアップ支援システムの開発研究



講師
(兼)総合医療・医学教育学 / 総合医療・医学教育学教室
金子 美子

① アピールポイント

高齢COPD患者の治療向上を目指す新たな診療戦略として、「**デバイス選択のミスマッチを最小化する**」という、全く新しい着眼点でこの問題解決を行います。

② 研究の出口のイメージ

患者気管支モデルを用いて流体力学的検証で裏付けられた、かつプライマリケア医の診療で収集できる臨床指標を用いて、非呼吸器専門のプライマリケア医の現地臨床に応用可能なCOPD初期診断支援システム（アプリ）を開発します。

キーワード

高齢者、COPD初期治療、吸入治療薬選択、診療支援アプリ

研究内容

COPD本邦罹患者は約530万人、世界の死因の第4位を占める疾患

吸入療法が基幹治療ですが、吸気力不足、握力低下、理解力低下など高齢者個々の特性と処方されたデバイスの特徴のミスマッチが治療効果を低下させる主な要因と考えられます。本研究では吸入デバイス選択のミスマッチを最小化するCOPD診療補助支援システムの基盤を検討します。

【研究概要】

Phase1：高齢者の臨床指標を同定する

- 1) 高齢患者の呼吸筋力(吸入気圧)を推定する指標を確立する
- 2) 患者CTを用いた気道モデルで、吸入効率を検証する
- 3) 器機操作に必要な認知力を評価する簡易スコアを作成する

Phase2：吸入デバイス選択経路の確立と現地臨床での検証

- 4) '吸えない'デバイスを同定するプロトコルの確立
- 5) プロトコルの検証：
「ガイドで示すミスマッチ」が吸入不良となる事の検証

Phase3：包括的診療支援システムの開発

- 6) 高齢COPD患者の診療支援システムを開発する
(プライマリケア診療支援アプリ)

プライマリケア医から始まるCOPD診療

